

ウルトラロックの使用者及びその管理者の方へ
ご使用前に取扱説明書を必ずお読みいただきよくご理解の上お
使ってください。

高所作業専用—プロセス—

説明書No. F601

ツヨロン® ウルトラロック

いつでも活用できるように大切に保管してください

このたびは、《ウルトラロック》をお買い上げいただきましてありがとうございます。
このウルトラロックは、鉄塔などの高い構築物や、ビル・ダムなどの建設現場の昇降時の墜落
防止器具として製造したものです。本品を正しく安全にお使いいただくため、**ご使用前にこの
取扱説明書を必ずお読みください。**

なお、「5.必ずお守りください(使用上の注意事項)」は事故を未然に防ぐためにとても大切で
すので、よくご理解のうえご使用ください。また、ご使用前に、「6.点検のしかた」にしたがって、
点検を行ってください。取扱説明書を紛失された場合は藤井電工(株)に請求してください。
また、より安全なご使用のため、労働安全衛生総合研究所技術指針「安全帯使用指針」
(NIIS-TR-No.37 (2004))の併読をお奨め致します。

本品を下記のような特殊な環境下で使用されますと、性能・機能が十分確保されない状況が
発生することが考えられます。詳しくは、「お客様相談窓口」にお問い合わせ下さい。

- (1) 金属類に錆びの発生しやすい海上や海岸地域
- (2) 摺動部の作動に悪影響を及ぼす可能性がある土砂などの付着しやすい現場
- (3) 繊維類の劣化が考えられる高温域の現場
- (4) 酸やアルカリの付着が考えられる現場
- (5) その他、金属・繊維類に悪影響を及ぼす特殊な環境下

もくじ

1. 用 途 P.2
2. 構造および各部のなまえ P.2
3. 仕 様 P.2
4. 使 い 方 P.3
5. 必ずお守りください	
(使用上の注意事項) P.4
6. 点検のしかた P.9
7. 保管・手入れのしかた P.11
8. 交換のめやす(耐用期間) P.11
9. 性 能 P.11
10. お客様相談窓口 P.12



形状は一例(UL-10S型)を示します。

ウルトラロックの使用者及びその管理者の方へ
ご使用前に取扱説明書を必ずお読みいただきよくご理解の上お
使ってください。

高所作業専用—ブローズ—

説明書No. F601

ツヨロン® ウルトラロック

いつでも活用できるように大切に保管してください

このたびは、《ウルトラロック》をお買い上げいただきましてありがとうございます。
このウルトラロックは、鉄塔などの高い構築物や、ビル・ダムなどの建設現場の昇降時の墜落
防止器具として製造したものです。本品を正しく安全にお使いいただくため、**ご使用前にこの
取扱説明書を必ずお読みください。**

なお、「5.必ずお守りください(使用上の注意事項)」は事故を未然に防ぐためにとても大切で
すので、よくご理解のうえご使用ください。また、ご使用前に、「6.点検のしかた」にしたがって、
点検を行ってください。取扱説明書を紛失された場合は藤井電工(株)に請求してください。
また、より安全なご使用のため、労働安全衛生総合研究所技術指針「安全帯使用指針」
(NIIS-TR-No.37 (2004))の併読をお奨め致します。

本品を下記のような特殊な環境下で使用されますと、性能・機能が十分確保されない状況が
発生することが考えられます。詳しくは、「お客様相談窓口」にお問い合わせ下さい。

- (1) 金属類に錆びの発生しやすい海上や海岸地域
- (2) 摺動部の作動に悪影響を及ぼす可能性がある土砂などの付着しやすい現場
- (3) 繊維類の劣化が考えられる高温域の現場
- (4) 酸やアルカリの付着が考えられる現場
- (5) その他、金属・繊維類に悪影響を及ぼす特殊な環境下

もくじ

1. 用 途 P.2
2. 構造および各部のなまえ P.2
3. 仕 様 P.2
4. 使 い 方 P.3
5. 必ずお守りください	
(使用上の注意事項) P.4
6. 点検のしかた P.9
7. 保管・手入れのしかた P.11
8. 交換のめやす(耐用期間) P.11
9. 性 能 P.11
10. お客様相談窓口 P.12

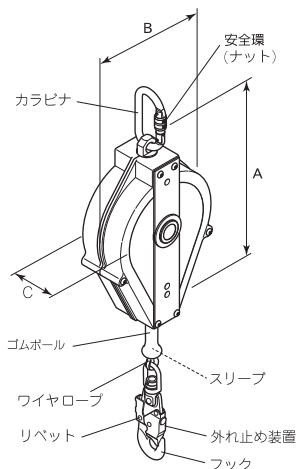


形状は一例(UL-10S型)を示します。

1. 用途

ウルトラロックは、鉄塔などの構築物や、ビル・ダム建設現場の構築物に取り付け、フックを安全帯のB環（D環）・ロリップ環に連結して、昇降時の万一の墜落を阻止する器具です。その他の用途には使用しないでください。

2. 構造および各部のなまえ



形状は一例を示します (UL-10S)

(注1) 台付ロープ・引寄せロープは、弊社製をお使いください。

・台付ロープ=ナイロンφ14mm×1m
(FS-51Lフック付き)

・引寄せロープ=φ4mm

(注2) ウルトラロック本体はカラビナ付き（一般型）の他にUシャックル付きもあります。

(注3) ゴムボールが傷んだら取替用ゴムボールがあります。



3. 仕様

型 式		UL-10S	UL-12S	UL-15S	UL-20S	UL-25S	UL-30S
ワイヤロープ長さ(m)		10	12	15	20	25	30
ワイヤロープ径 (mm)		φ4.3(ステンレス)					
ケ ー ス 材 料		プラスチック				アルミダイキャスト	
ケ ー ス サ イ ズ	A (mm)	290		323		343	
	B (mm)	176		201		274	
	C (mm)	84		91		117	
質 量(重量) (kg)		4.9	5.1	6.3	6.7	13.1	13.5

※ 型式の選定に際しては、使用現場の最大移動距離よりも約1m長いタイプをお選びください。



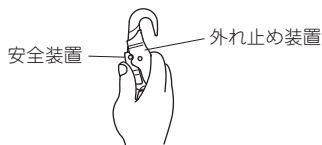
本品は、総重量35kg以上、120kg以下を対象として設計されています。

総重量120kgを超える場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。

4. 使 い 方

フックの操作方法

先ず安全装置、その後外れ止め装置を連続して握ると開口します。



(1)ウルトラロックのフックに引寄せロープを取り付けます。

引寄せロープはウルトラロックを使用する時、ウルトラロックのフックを引き寄せるためのものです。



(2)ウルトラロックを構造物に取り付けます。作業員が昇降する位置よりも高い位置のしっかりとした構造物にカラビナや専用の台付ロープで取り付けてください。



(3)ウルトラロックのフックを安全帯のB環(D環・ロリップ環)に掛けます。フックがB環(D環・ロリップ環)に掛かっていることを目視で確認してください。



(4)梯子またはステップボルトなどを昇降します。

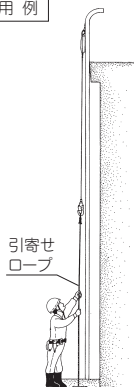


ロック機能を確認するため、昇降前にワイヤロープを素早く引き出し、ロックすることを確認してください。

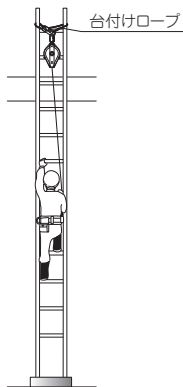
※5.必ずお守りください(使用上の注意事項)の警告を参照



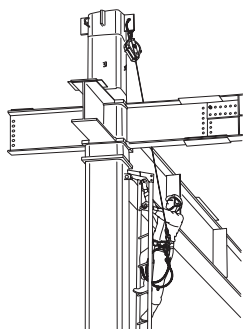
使用例



フックをたぐり寄せている状態



梯子の昇降状態



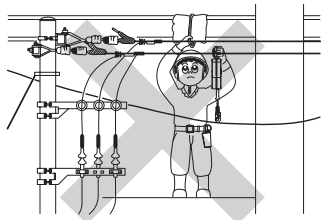
構造物への昇降状態

5. 必ずお守りください（使用上の注意事項）

⚠ 危険

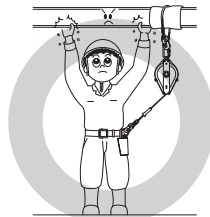
重大な事故につながる危険性がありますので、次の事項を厳守してください。

電線などに触れる場所で使用しないでください



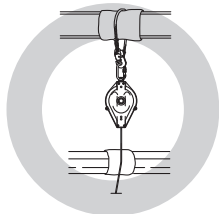
- ワイヤロープが電線（活線）などに接触する可能性がある場所では、感電する危険性がありますので、絶対に使用しないでください。

ウルトラロックはしっかりとした構造物に取り付けてください



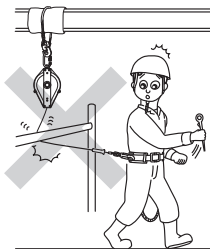
- 弱い構造物に取り付けると、落下時の衝撃により構造物が破損し、墜落阻止できない危険性があります。ウルトラロックは必ず強固な構造物にしっかりと取り付けてください。

鋭いエッジがある場合はパッドなどで保護してください



- 台付ロープの取付部やワイヤロープ接触部に鋭いエッジがあると、万一の落下時に台付ロープやワイヤロープが切断する危険性があります。必ずパッドなどで保護してください。
(プレート・アングルなどの切断面およびL65以下のアングル材)

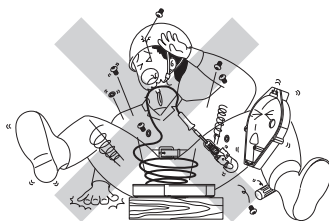
ワイヤロープが障害物に引っ掛る場所では使用しないでください



- 障害物に接触した状態で使用すると、落下距離が長くなったり、身体に絡まって危険な状態が発生します。

分解・組立または改造はしないでください

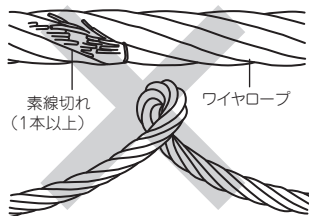
- ご自分で分解・組立または改造をすると、本来の機能を失う危険性があります。また、内蔵されたばねが飛び出して大ケガをする危険性がありますので、絶対にしないでください。



錆や素線切れやキンクが発生したワイヤロープは使用しないでください

- 錆が発生した場合、素線は屈曲により急激な強度低下が起り、破断につながる危険性がありますので特に注意してください。

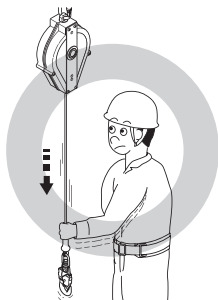
(ゴムボールで覆われているスリーブ際も調べてください。)また、錆が発生していなくても、素線が1本以上切断したり、キンクの生じたものは、強度が不足し墜落阻止できない危険性がありますので、ワイヤロープ全体を廃却してください。ワイヤロープの取り替えは、必ず藤井電気(株)へお申しつけください。



警告

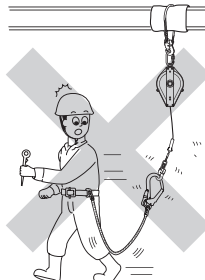
ご使用にあたって、次の事項は厳守してください。

ワイヤロープのロック機能の確認をしてください



- 昇降前にワイヤロープを素早く引き出し、ロックすることを必ず確認してください。

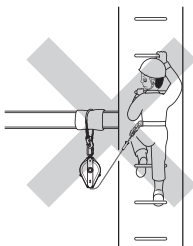
ウルトラロックのフックは安全帯のリングへ直接連結してください



- ウルトラロックのフックは安全帯のB環 (D環) またはロリップ環へ直接連結してください。

ウルトラロックの取付点より、上に上がらないでください

- 取付点より上に上がられますと、墜落阻止時に衝撃荷重が大きくなり身体に損傷を及ぼすおそれがあります。



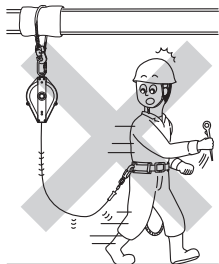
(安全帯のD環がウルトラロック本体より下方にあること)

ウルトラロックの取付点から30°以下の範囲内で使用してください。なお、15mを超えるものについては水平移動距離を8m以内にしてください

- 範囲を超えての使用は万一の落下時に振り子状態が大きくなり、他の構造物にぶつかるおそれがあります。
- 30°は移動距離が引き出し長さの半分となった時をめやすとしてください。

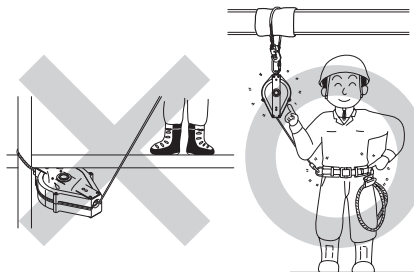


ワイヤロープにたるみが生じたままで使用しないでください



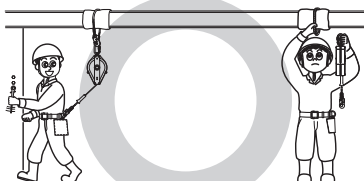
- ワイヤロープがたるんだ状態で使用すると落下距離が大きくなります。たるみが生じた場合はワイヤロープを少し出し入れすれば、たるみが無くなります。
- ワイヤロープがたるんでいると、身体に絡むおそれがあります。

ウルトラロックは腰より高い位置に取り付けてください



- ウルトラロックの取付点より高い位置で作業しないでください。
- ウルトラロックを腰より低い位置にセットした場合、落下距離が長くなり、作業者に加わる衝撃荷重が大きくなります。

ウルトラロックは他の作業者のじゃまにならないところに取り付けてください



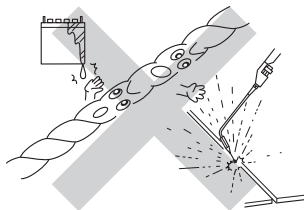
- 他の作業者のワイヤロープと交差すると、落下時にワイヤロープが絡んで切断したり、他の作業者を巻き添えにするおそれがあります。

一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください

- 墜落阻止により大きな荷重が加わったものは、内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。藤井電工(株)の検査を受けるまでは使用しないでください。
- フックの回転後部の所に隙間ができ赤色の部分が見えたら、大きな荷重が加わったことを示していますので使用しないでください。



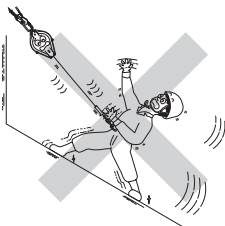
火気に近い場所や薬品・水・油などが付着する場所では使用しないでください



- ウルトラロックは火気・薬品などに影響されると強度低下を招きます。また、大量の水や油によってロック機能が作動しなくなるおそれがあります。

傾斜面での使用は注意してください

- ウルトラロックは、階段や斜面・屋根などの傾斜が緩い場所ではワイヤの引き出し速度が遅く、ロック機能は働かないおそれがあります。



ワイヤロープを構造物に何度も接触させたり巻き付けたりしないでください

- ロック機能が働かず、墜落阻止できないおそれがあります。

墜落災害の防止用ですので、他の用途には使用しないでください

- ウルトラロックは昇降時の墜落防止器具です。水平移動用の墜落防止器具としては使用できません。

-10℃~50℃の範囲で使用してください

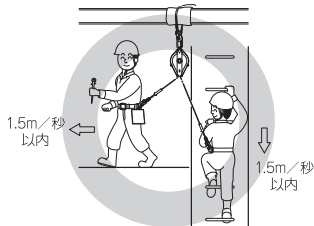
- フックや本体（ワイヤロープ）などが水に濡れて凍結すると、外れ止め装置やロック装置が働かないおそれがあります。また使用中に凍結するおそれのある場合も使用しないでください。
- 台付ロープなどが熱い構造物に触れないようにしてください。



注意

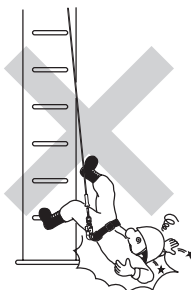
安全にお使いいただくため、次の事項を守ってください。

移動速度は、縦・横・斜め方向とも1.5m/秒以内としてください



- 速く移動すればロック機能が働き、体のバランスを崩す場合があります。また開口部の飛び越えなどはしないように、ゆっくりと移動してください。

地面近くでは昇降に注意してください



- 墜落阻止時の落下距離にはワイヤロープの繰り出し量（200~600mm程度）が加わりますので、地面近くでは地面に衝突する場合があります。

作業前には必ず始業点検を行ってください

- 始業前には、「6.点検のしかた」に従って点検を行ってください。処置を必要とする場合は、部品の修理や交換を行ってから使用してください。

丁寧に扱ってください

- 投げ投げたり落としたりしないでください。特にフックを下にして落とした場合、ワイヤのスリーブ際が屈曲し、繰り返されますと劣化や素線切れの原因となります。

移動中または作業中にワイヤロープを腕や足の下に通さないでください



- 移動中や作業中にワイヤロープに絡まって、バランスをくずす場合があります。

ワイヤロープは、ゴムボールまで確実に巻き取ってください



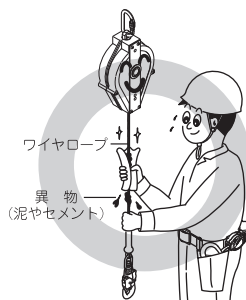
- 使用後は最後まで巻き取ってください。
- 巻き取れない場合は、ワイヤロープを少し出し入れして巻き取ってください。

引き出したワイヤロープはゆっくりと巻き取ってください



- 勢いよく巻き取ったり、ウルトラロックを横にして巻き取ったりすると、ワイヤロープが乱巻きになり、巻取り・引き出しができなくなる場合があります。

ワイヤロープの異物（泥やセメントなど）はすぐに取り除いてください



- 異物（泥やセメント）が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにしておきますと、ロック機能が作動しない場合があります。

ウルトラロックを屋外で保管する場合は横にしないでください

- 水分が抜けず、内部に錆が発生する原因となります。

体重を預けたり、ぶら下がるような使用はしないでください

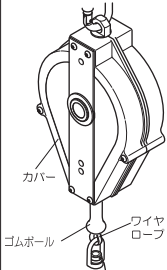





ウルトラロックを使用しない時は、ワイヤロープを必ず収納してください。



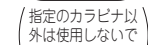
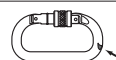









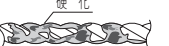


- 巻き上げ力が低下し故障の原因となります。

ウルトラロックは台付部が移動しないように確実に取り付けてください

6. 点検のしかた

- 使用前には点検項目について点検し、該当する場合は部品の修理または交換を行ってからご使用ください。なお、部品の修理や交換が必要な場合は藤井電工(株)へお申しつけください。
- ご購入後3年ごとに、藤井電工(株)の定期点検を必ず受けてください。
- 一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください。内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。藤井電工(株)の検査を受けるまでは使用しないでください。

点検箇所	点検項目（処置を必要とする状態）	処置	理由	
ウルトラロック本体	 カバー ファイアロープ ゴムボール	ワイヤロープをすばやく引き出してもロックしないもの。	墜落阻止不可	
		ワイヤロープを巻き込み・引き出しがスムーズに出来ないもの。	強度低下	
		ワイヤロープが収納できないもの。	機能低下	
		カバーが全体に変形したり、1mm以上のへこみがあるもの。また3mm以上の割れがあるもの。	強度低下	
		全体に錆が発生しているもの。	強度低下 機能低下	
		ゴムボールに割れ・損傷があるもの。	強度低下	
安全フック	 外れ止め装置 安全装置	全体に変形したもの。または、変形によって外れ止め装置や安全装置が完全に開閉しないもの。	墜落阻止不可	
		ねが折損または脱落して外れ止め装置や安全装置が完全に開閉しないもの。	操作性が悪くなる	
	 傷 フック本体 傷	フックカギ部の内側に傷があるものや外周に深さ1mm以上の傷があるもの。	部品の交換	強度低下
		フック本体に割れがあるもの。		
	リベット		リベットの頭部が1/2以上摩滅しているもの。	強度低下
			リベットかしめ部にガタがあるもの。	
		ロープ連結環と本体の回転部の隙間が0.8mm以上あるもの。または、赤色のサインがでているもの。	メーカー点検	
カラビナ	 開閉桿 安全環 ピン （指定のカラビナ以外は使用しないでください）	安全環（ナット）のねじに損傷などの異常があるもの。	部品の交換	強度低下
		安全環の作動が不良なものや変形しているもの。		
		開閉桿の動きが悪いもの。		
		カラビナをお送りしますのでユーザーで取り替えてください		

点検箇所	点検項目（処置を必要とする状態）	処置	理由	
カラビナ	 <p>開閉桿 安全環 ピン</p>	ピンが緩んでいるもの。	カラビナをお送りしますのでユーザーで取り替えてください 強度低下	
		摩滅・変形があるもの。		
	 <p>（指定のカラビナ以外は使用しないでください）</p>	深さ1mm以上の傷があるもの。		
		全体に赤錆が発生しているもの。		
ワイヤロープ		表面に異物（泥、セメントなど）が付着しているもの。	部品の交換	強度低下
	 <p>スリーブ際 スリーブ ゴムボール</p>	ゴムボールを引き上げ、ゴムボールの内側のワイヤロープの錆・素線切れ・変形があるもの。	部品の交換	
	<p>ワイヤロープは錆た状態で屈曲されると一気に強度低下が起きますので、ゴムボールやスリーブ際も念入りにご確認ください。</p>	ワイヤロープのスリーブに割れ・変形があるもの。		
		型崩れしたもの。	部品の交換	
		素線が1本以上切れたもの。 著しく摩耗しているもの。		
		キンクしたもの。		
	全体に錆が発生しているもの。			
台付ロープ	 <p>さつま編みの抜け</p>	さつま編込部が緩んでいるものや1箇所でも抜けているもの。 さつま編込み回数が3回未満になったものや型崩れを起しているもの。	部品の修理	強度低下
	 <p>ロープヤーン7本以上切断 1リード</p>	ロープヤーンが7本以上の切り傷・焼損・溶融箇所があるもの。	部品の交換	強度低下
	摩耗して、棒状になっているもの。			
 <p>キンク</p>	キンクのあるもの。 ロープヤーンが飛び出しているもの。			
 <p>硬化</p>	塗料が著しく付着して、硬化しているもの。			
 <p>溶解</p>	薬品が付着したもの。 薬品によって変色・溶解箇所があるもの。			
 <p>シンプル</p>	シンプルがないものや変形しているもの。			

7. 保管・手入れのしかた

(1) ウルトラロックは次のような場所で保管してください。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ア) 直射日光に当たらない所。 | オ) 塵埃の少ない所。 |
| イ) 風通しがよく、湿気の少ない所。 | カ) ねずみなど小動物の入らない所。 |
| ウ) 火気・放熱体などが近くにない所。 | キ) その他、機能・強度に悪影響を及ぼさない所。 |
| エ) 腐食性物質と同室でない所。 | |

(2) 物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。

(3) 台付ロープに、泥・埃・油などが付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

(4) 本体・フックなどの金具類に付着した砂・土・水などを拭き取り、可動部に時々注油してください。

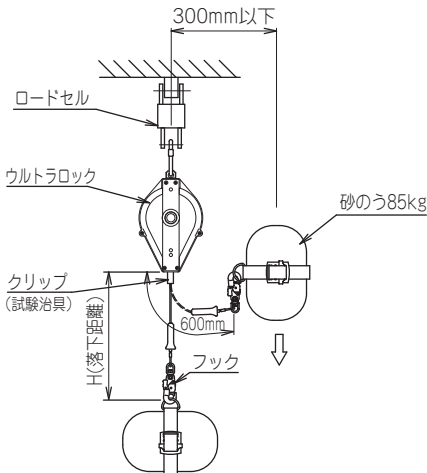
8. 交換のめやす（耐用期間）

ご購入後、3年経過ごとに藤井電工（株）の定期点検を受けてください。

ただし、定期点検以外にも「6. 点検のしかた」にしたがって点検を実施し、該当する場合は適正な処置を行ってから使用してください。

9. 性能

弊社の総合試験所において下記の試験状態で性能（強さ）を確認したデータです。



型 式	最大衝撃荷重	落下距離
UL-10S	3.8kN	1050mm
UL-12S	3.7kN	1140mm
UL-15S	3.7kN	1210mm
UL-20S	3.6kN	1320mm
UL-25S	4.2kN	1250mm
UL-30S	4.3kN	1380mm

この試験結果は、独立行政法人労働安全衛生総合研究所発行の「安全帯構造指針」にもとづく試験方法で行なったもので、通常の使用状態（P3の使用例）で落下した場合のワイヤロープの繰り出し量は、約600mm程度です。

10. お客様相談窓口

この取扱説明書の内容やその他製品に関するご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電気株式会社 URL=<https://www.fujii-denko.co.jp/>

本 社 営 業 部	〒679-0295 兵庫県加東市上滝野1573番地2	TEL(0795)48-3851	FAX(0795)48-3409
東北地区 仙台営業所	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目9番5号 五輪ビル	TEL(022)256-7001	FAX(022)295-7423
関東地区 東京支社	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目7番2号 長坂ビル	TEL(03)5821-2241	FAX(03)5821-2170
中部地区 名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目29番19号 ヤスイビル	TEL(052)211-7781	FAX(052)211-7782
関西地区 大阪営業所	〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目8番13号 林ボタンビル	TEL(06)6882-3355	FAX(06)6242-2170
九州地区 福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目8番27号 博多駅東パレスビル	TEL(092)413-6110	FAX(092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区については、本社営業部のご相談窓口にお問い合わせください。

最新設備を備えた藤井電気総合試験所



屋外試験鉄塔群



屋内試験鉄塔



滝野工場

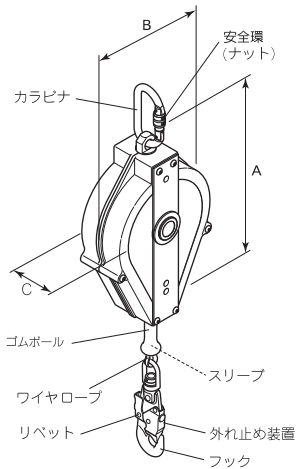


 藤井電気株式会社

1. 用 途

ウルトラロックは、鉄塔などの構築物や、ビル・ダム建設現場の構築物に取り付け、フックを安全帯のB環（D環）・ロリップ環に連結して、昇降時の万一の墜落を阻止する器具です。その他の用途には使用しないでください。

2. 構造および各部のなまえ



形状は一例を示します (UL-10S)

(注1) 台付ロープ・引寄せロープは、弊社製をお使いください。

・台付ロープ=ナイロンφ14mm×1m
(FS-51Lフック付き)

・引寄せロープ=φ4mm

(注2) ウルトラロック本体はカラビナ付き（一般型）の他にUシャックル付きもあります。

(注3) ゴムボールが傷んだら取替用ゴムボールがあります。



3. 仕 様

型 式		UL-10S	UL-12S	UL-15S	UL-20S	UL-25S	UL-30S
ワイヤロープ長さ(m)		10	12	15	20	25	30
ワイヤロープ径 (mm)		φ4.3(ステンレス)					
ケ ー ス 材 料		プラスチック				アルミダイキャスト	
ケ ー ス サ イ ズ	A (mm)	290		323		343	
	B (mm)	176		201		274	
	C (mm)	84		91		117	
質 量(重量) (kg)		4.9	5.1	6.3	6.7	13.1	13.5

※ 型式の選定に際しては、使用現場の最大移動距離よりも約1m長いタイプをお選びください。



本品は、総重量35kg以上、120kg以下を対象として設計されています。

総重量120kgを超える場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。

4. 使い方

フックの操作方法

先ず安全装置、その後外れ止め装置を連続して握ると開口します。



- (1)ウルトラロックのフックに引寄せロープを取り付けます。

引寄せロープはウルトラロックを使用する時、ウルトラロックのフックを引き寄せるためのものです。



- (2)ウルトラロックを構造物に取り付けます。作業員が昇降する位置よりも高い位置のしっかりとした構造物にカラビナや専用の台付ロープで取り付けてください。



- (3)ウルトラロックのフックを安全帯のB環(D環・ロリップ環)に掛けます。フックがB環(D環・ロリップ環)に掛かっていることを目視で確認してください。



- (4)梯子またはステップボルトなどを昇降します。

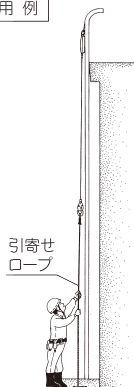


ロック機能を確認するため、昇降前にワイヤロープを素早く引き出し、ロックすることを確認してください。

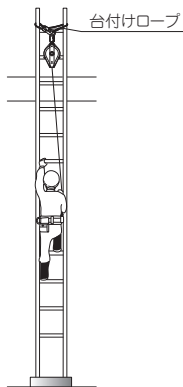
※5.必ずお守りください(使用上の注意事項)の警告を参照



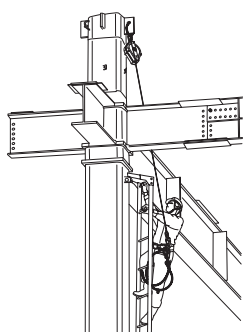
使用例



フックをたぐり寄せている状態



梯子の昇降状態



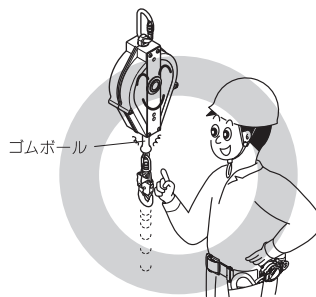
構造物への昇降状態

移動中または作業中にワイヤロープを腕や足の下に通さないでください



- 移動中や作業中にワイヤロープに絡まって、バランスをくずす場合があります。

ワイヤロープは、ゴムボールまで確実に巻き取ってください



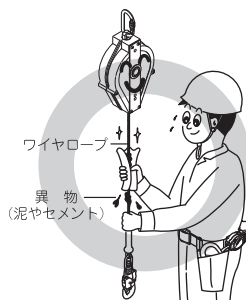
- 使用後は最後まで巻き取ってください。
- 巻き取れない場合は、ワイヤロープを少し出し入れして巻き取ってください。

引き出したワイヤロープはゆっくりと巻き取ってください



- 勢いよく巻き取ったり、ウルトラロックを横にして巻き取ったりすると、ワイヤロープが乱巻きになり、巻取り・引き出しがでなくなる場合があります。

ワイヤロープの異物（泥やセメントなど）はすぐに取り除いてください



- 異物（泥やセメント）が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにしておきますと、ロック機能が作動しない場合があります。

ウルトラロックを屋外で保管する場合は横にしないでください

- 水分が抜けず、内部に錆が発生する原因となります。

体重を預けたり、ぶら下がるような使用はしないでください

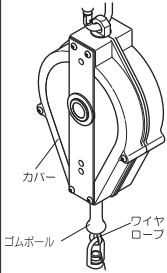
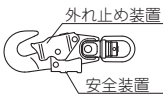





ウルトラロックを使用しない時は、ワイヤロープを必ず収納してください。



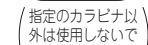
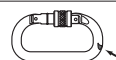









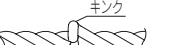

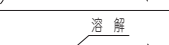
- 巻き上げ力が低下し故障の原因となります。

ウルトラロックは台付部が移動しないように確実に取り付けてください

6. 点検のしかた

- 使用前には点検項目について点検し、該当する場合は部品の修理または交換を行ってからご使用ください。なお、部品の修理や交換が必要な場合は藤井電工(株)へお申しつけください。
- ご購入後3年ごとに、藤井電工(株)の定期点検を必ず受けてください。
- 一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください。内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。藤井電工(株)の検査を受けるまでは使用しないでください。

点検箇所	点検項目（処置を必要とする状態）	処置	理由	
ウルトラロック本体	 カバー ファイアロープ ゴムボール	部品の交換	ワイヤロープをすばやく引き出してもロックしないもの。	墜落阻止不可
	ワイヤロープを巻き込み・引き出しがスムーズに出来ないもの。		強度低下	
	ワイヤロープが収納できないもの。		機能低下	
	カバーが全体に変形したり、1mm以上のへこみがあるもの。また3mm以上の割れがあるもの。		強度低下	
	全体に錆が発生しているもの。		強度低下 機能低下	
	ゴムボールに割れ・損傷があるもの。		強度低下	
安全フック	 外れ止め装置 安全装置	部品の交換	全体に変形したもの。または、変形によって外れ止め装置や安全装置が完全に開閉しないもの。	墜落阻止不可
	 傷 フック本体 傷		ねがが折損または脱落して外れ止め装置や安全装置が完全に開閉しないもの。	操作性が悪くなる
	フックカギ部の内側に傷があるものや外周に深さ1mm以上の傷があるもの。		強度低下	
	フック本体に割れがあるもの。			
				リベットの頭部が1/2以上摩滅しているもの。
	リベットかしめ部にガタがあるもの。			
	ロープ連結環と本体の回転部の隙間が0.8mm以上あるもの。または、赤色のサインがでているもの。	メーカー点検		
	全体に錆または著しい腐食が発生しているもの。	部品の交換		
カラビナ	開閉桿 安全環 ピン  （指定のカラビナ以外は使用しないでください）	カラビナをお送りしますのでユーザーで取り替えてください	安全環（ナット）のねじに損傷などの異常があるもの。	強度低下
	安全環の作動が不良なものや変形しているもの。			
	開閉桿の動きが悪いもの。			

点検箇所	点検項目（処置を必要とする状態）	処置	理由	
カラビナ	 <p>開閉棒 安全環 ピン</p>	ピンが緩んでいるもの。	カラビナをお送りしますのでユーザーで取り替えてください 強度低下	
		摩滅・変形があるもの。		
	 <p>（指定のカラビナ以外は使用しないでください）</p>	深さ1mm以上の傷があるもの。		
		全体に赤錆が発生しているもの。		
ワイヤロープ		表面に異物（泥、セメントなど）が付着しているもの。	部品の交換	強度低下
	 <p>スリーブ際 スリーブ ゴムボール</p> <p>ワイヤロープは錆た状態で屈曲されると一気に強度低下が起きますので、ゴムボールやスリーブ際も念入りにご確認ください。</p>	ゴムボールを引き上げ、ゴムボールの内側のワイヤロープの錆・素線切れ・変形があるもの。 ワイヤロープのスリーブに割れ・変形があるもの。	部品の交換	
		型崩れしたもの。	部品の交換	
		素線が1本以上切れたもの。 著しく摩耗しているもの。	部品の交換	
		キンクしたもの。	部品の交換	
		全体に錆が発生しているもの。	部品の交換	
台付ロープ	 <p>さつま編みの抜け</p>	さつま編込部が緩んでいるものや1箇所でも抜けているもの。 さつま編込回数が3回未満になったものや型崩れを起しているもの。	部品の修理	強度低下
	 <p>ロープヤーン7本以上切断 1リード</p>	ロープヤーンが7本以上の切り傷・焼損・溶融箇所があるもの。	部品の交換	強度低下
ロープ	 <p>キンク</p>	キンクのあるもの。 ロープヤーンが飛び出しているもの。	部品の交換	強度低下
	 <p>硬化</p>	塗料が著しく付着して、硬化しているもの。	部品の交換	
	 <p>溶解</p>	薬品が付着したもの。 薬品によって変色・溶解箇所があるもの。	部品の交換	
	 <p>シンプル</p>	シンプルがないものや変形しているもの。	部品の交換	

7. 保管・手入れのしかた

(1) ウルトラロックは次のような場所で保管してください。

- ア) 直射日光に当たらない所。
- イ) 風通しがよく、湿気の少ない所。
- ウ) 火気・放熱体などが近くにない所。
- エ) 腐食性物質と同室でない所。
- オ) 塵埃の少ない所。
- カ) ねずみなど小動物の入らない所。
- キ) その他、機能・強度に悪影響を及ぼさない所。

(2) 物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。

(3) 台付ロープに、泥・埃・油などが付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

(4) 本体・フックなどの金具類に付着した砂・土・水などを拭き取り、可動部に時々注油してください。

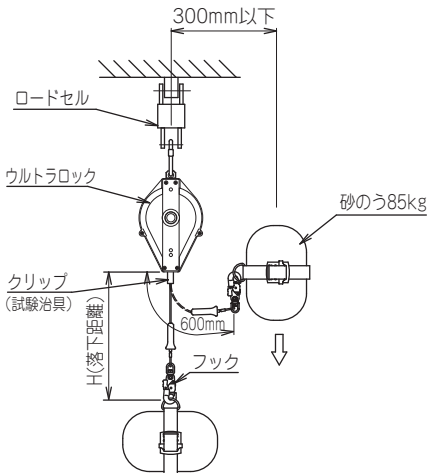
8. 交換のめやす（耐用期間）

ご購入後、3年経過ごとに藤井電工（株）の定期点検を受けてください。

ただし、定期点検以外にも「6. 点検のしかた」にしたがって点検を実施し、該当する場合は適正な処置を行ってから使用してください。

9. 性能

弊社の総合試験所において下記の試験状態で性能（強さ）を確認したデータです。



型 式	最大衝撃荷重	落下距離
UL-10S	3.8kN	1050mm
UL-12S	3.7kN	1140mm
UL-15S	3.7kN	1210mm
UL-20S	3.6kN	1320mm
UL-25S	4.2kN	1250mm
UL-30S	4.3kN	1380mm

この試験結果は、独立行政法人労働安全衛生総合研究所発行の「安全帯構造指針」にもとづく試験方法で行なったもので、通常の使用状態（P3の使用例）で落下した場合のワイヤロープの繰り出し量は、約600mm程度です。

10. お客様相談窓口

この取扱説明書の内容やその他製品に関するご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電気株式会社 URL=<https://www.fujii-denko.co.jp/>

本 社 営 業 部	〒679-0295 兵庫県加東市上滝野1573番地2	TEL(0795)48-3851	FAX(0795)48-3409
東北地区 仙台営業所	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目9番5号 五輪ビル	TEL(022)256-7001	FAX(022)295-7423
関東地区 東京支社	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目7番2号 長坂ビル	TEL(03)5821-2241	FAX(03)5821-2170
中部地区 名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目29番19号 ヤスイビル	TEL(052)211-7781	FAX(052)211-7782
関西地区 大阪営業所	〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目8番13号 林ボタンビル	TEL(06)6882-3355	FAX(06)6242-2170
九州地区 福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目8番27号 博多駅東バネビル	TEL(092)413-6110	FAX(092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区については、本社営業部のご相談窓口にお問い合わせください。

最新設備を備えた藤井電気総合試験所



屋外試験鉄塔群



屋内試験鉄塔



滝野工場



 藤井電気株式会社